

「アバターでの子どもの学校生活参加支援の実践（デジタル共生社会を目指して）」

2023年9月6日

一財) ニューメディア開発協会

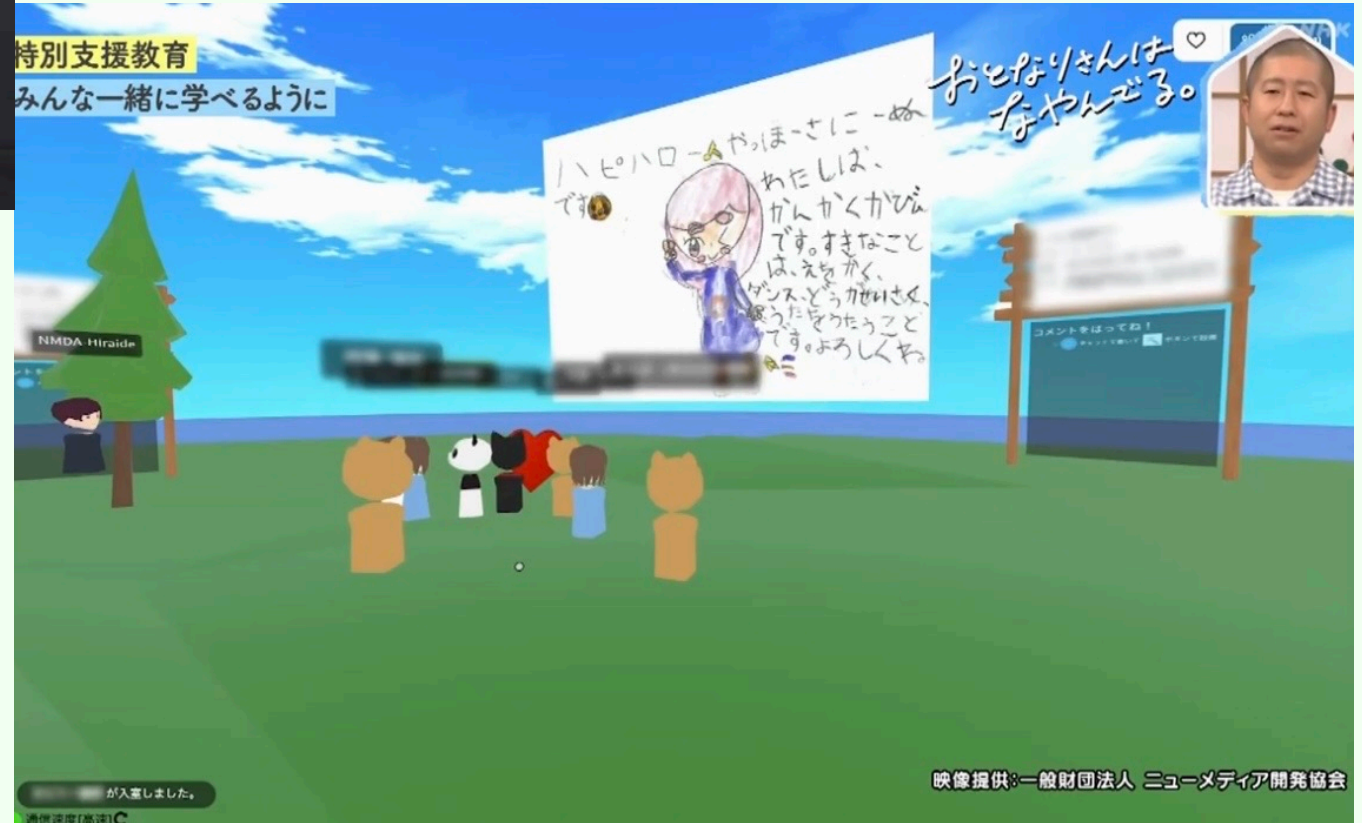
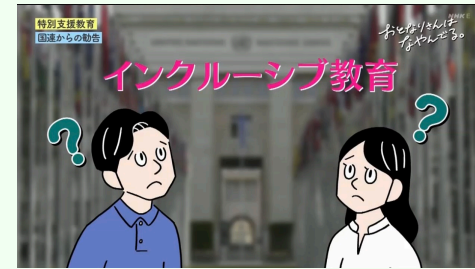
一般財団法人

ニューメディア開発協会

ITイノベーションにより
安全・安心、快適で、利便性の高い
社会を実現します



モデル校 狛江市狛江第3小の活動紹介



特別支援教育

インクルーシブ教育って？

NHK E
おせなりさんは
なやんでる。



基本方針

目指す世界

病気や障がいなどの外出が困難な子どもの

デジタルで誰一人取り残されない **共生社会** の実現



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

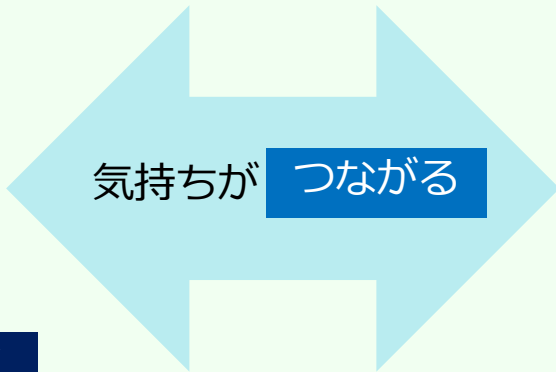
活動の目的

病气療養、発達障がい、肢体不自由、不登校などの 子どものペースに寄り添った学校生活参加 支援

アバターを使いワクワクする新たなコミュニケーションを創出し、
ソーシャルスキルをアップ (= 子どもの社会活動の場の拡大)



主体的・対話的で深い学び



安心! & 元気!



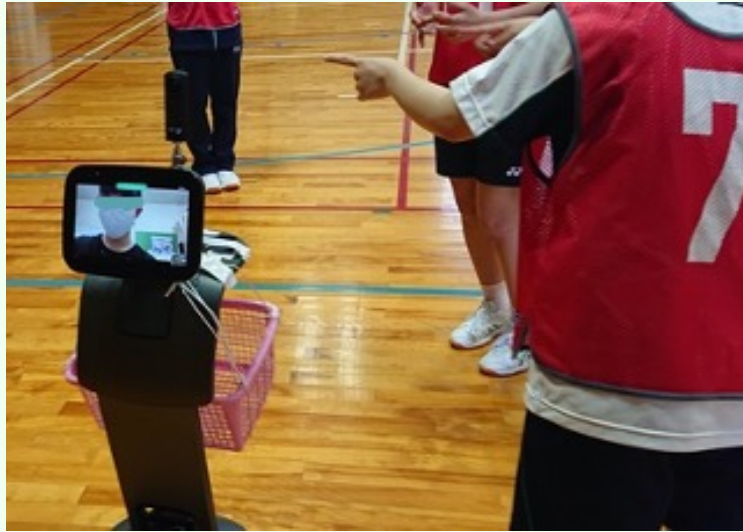
様々なタイプのアバターロボット

VIRTUAL

REAL



学校／病院での実証実験と検証（授業とワイガヤ）



特別支援学校・学級メタバー「先生学校自慢島 & 子ども宝物自慢展示」

先生学校自慢島



学校別

子ども宝物自慢展示



ワープ
センター

世代別



子どもや先生の1つ1つの作品から想いが伝わってくる 作品総数118点

アバター利用事例 現状38本 → 今年度目標 90本

学校イベント

アバター校長先生と話そう!
京都市立桃陽総合支援学校

先生の人手不足解消!?
アバターでテスト監督
大阪府立刀根山支援学校

アバターでの始業式出席、
Teamsとのコンビンーション利用で参加一体感増大
～つながる森川実践編～
奈良県立森川特別支援学校

つながる!
あそべる!
楽しめる!
和歌山県立みはま支援学校

テレロボにより病室からの
販売会受付係を実現
千葉県立四街道特別支援学校

課外学習

可搬型アバターで
「家から冬をさがしにいこう」
大阪府立刀根山支援学校

テレロボで買い物に行こう!
秋田県立秋田きらり支援学校

テレロボでコンビニ見学
埼玉県立けやき特別支援学校

自走式アバターロボットと
お買い物!
@京都市伏見区の商店街
・錦屋町商店街
・伏見入手筋商店街
・竜馬通り商店街
少しでも生徒たちの
経験値を
増やしてほしい!
京都市立呉竹総合支援学校
(京都市立桃陽総合支援学校連携事例)

健康管理

temi 保健室に行ってきた!
鳥取県立鳥取養護学校

交流

笑顔の花が咲く
テレロボで「あっち向いてホイ」
長野県若槻養護学校

その他学校生活

リモート図書館
~自走式アバターで
図書館を自由に動いて
好きな本を借りよう~
京都市立桃陽総合支援学校

進学支援

諦めていた
高校進学を
アバターが
実現に向けPUSH
大阪府立光陽支援学校

「モデル校」 全国21参加校

沖縄県立森川特別支援学校



長野県若槻養護学校

岐阜県立長良特別支援学校

岐阜県立恵那特別支援学校

KAYOUプロジェクト
京都市立桃陽総合支援学校

呉竹総合支援学校

鳥取県立鳥取養護学校

大阪府立刀根山支援学校

大阪府立光陽支援学校

長野県若槻養護学校

秋田大学教育文化学部附属特別支援学校

秋田県立秋田きらり支援学校

水戸高等特別支援学校

水戸特別支援学校

埼玉県立けやき特別支援学校

千葉県立四街道特別支援学校

千葉県立仁戸名特別支援学校

狛江市立狛江第三小学校
都立多摩桜ヶ丘学園

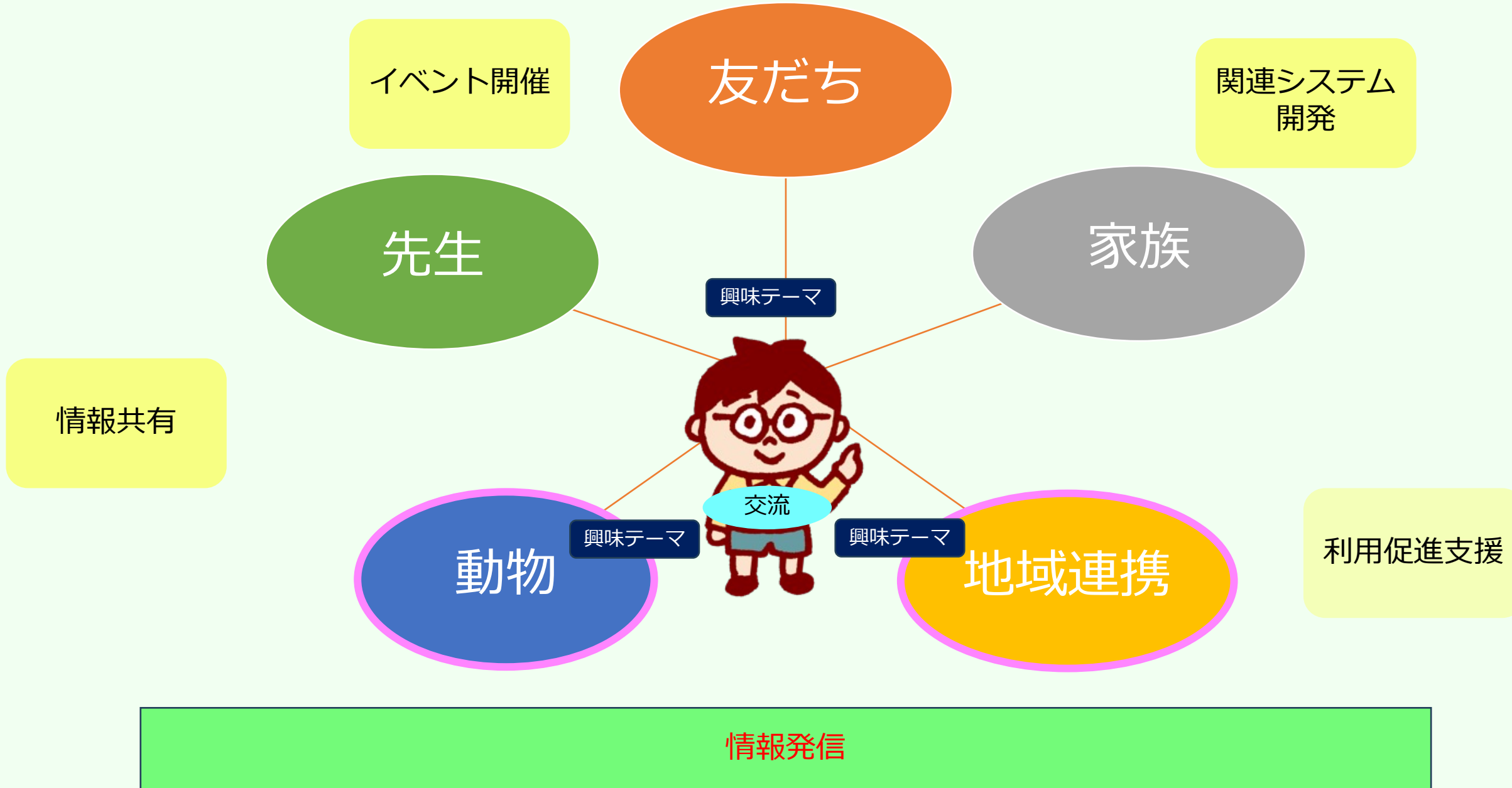
和歌山県立和歌山ろう学校

和歌山県立みはま支援学校

アバタ単独利用可能な先生 : 109人/1158人 全体比率 9%

アバタ利用経験のある子ども : 423人/1462人 全体比率 29%

2023年度活動重点化テーマ



地域連携モデル

地方創生につながる活動の推進

- ・観光資源アピール
- ・大学との連携（学生人材育成）
- ・モデル作り

地域連携モデル 秋田

アバターでの地域活性化 秋田モデル



秋田大附属特別支援学校



横手かまくらまつ (2/15)



提灯制作紹介 (11上)



Team Akita Children Support

メタバース地域自慢紹介 (12中)

県内特別支援学校連携

地方創生連携モデルの確立

竿燈、障害児らに生配信

秋大大学院・藤井教授と東京の財団法人

秋大大学院教育学研究科の藤井慶博教授(1)は特別支援教育と一般財団法人ニューメディア開発協会(東京)は、4両日、全国の障害児らを対象に秋田竿燈まつりをライブ配信した。外出が困難な子どもに、まつりを楽しんでもらいたいと企画。各地に本県の伝統行事を臨場感たっぷりに届けた。

ウェア会議で利用され、遠隔操作で上下左右に動かすことができるロボット「kubi」を活用。まつり実行委員会や秋田市の協力を得て、会場内3カ所に設置した。

kubiにタブレットを



タブレット越しに受信者と交流を図る藤井教授

グルを交えて夏祭り気分を味わってもらった。重度の心身障害がある若手県一関市の三浦りんさん(21)は、母かおるさん(54)と一緒に竿燈まつりを初めて見物した。話すことができな

きないりんさんだが、おはやしや独特なイントネーションのかけ声に興味深そうな表情をしたり、高く上がったちようちんを見つめたりと楽しんでる様子だったという。

かおるさんがkubiを

ロボット遠隔操作し撮影

遠隔操作すると、画面に移った差し手に「このくらい練習するのですか」などと話しかける場面もあった。かおるさんは「重度の心身障害を患うと厳しい暑さに対応できず、夏祭りへの参加は難しい。遠隔でも楽しめるのはありがたい」と感謝した。

藤井教授とニューメディア開発協会は、デジタル技術を使って病気療養などのため学校に行けない子どもへ学びの機会などを提供することで、共生社会を実現しようと連携している。学

協会の林充宏さん(2)は「次世代にも支援の輪を広



林さん

びだけでなく楽しみの子どもにも与えたいと考える中で、祭りは障害児や病気療養児にとって新鮮な経験になるのではないかと、竿燈まつりのライブ配信を決めた。

藤井教授は「子どもたちの環境が多様化し、教師だけで全ての課題解決は難しい。幅広い職種で連携し、取り残されてしまいがちな学校に行けない子どもへの支援につなげたい」と力を込める。

協会の林充宏さん(2)は「次世代にも支援の輪を広げ、これから先生を目指す若者に情報通信技術(ICT)を活用した支援を柔軟に取り入れてもらえるようになればいい」と話した。

(富田実侑)

撮影状況などを確認し、配信を調整する

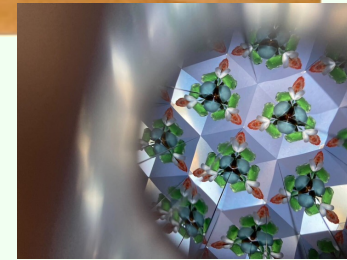
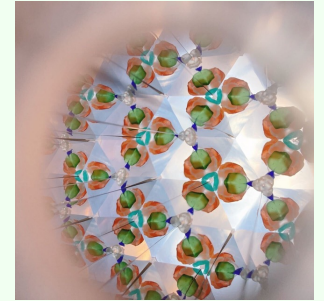
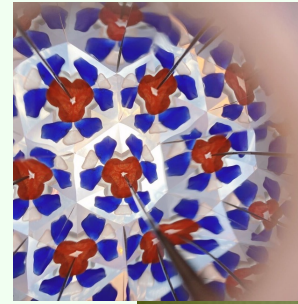
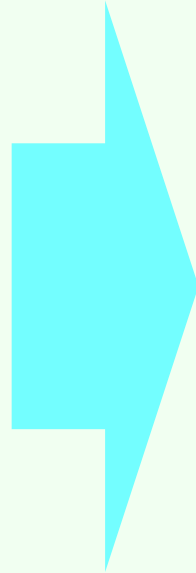
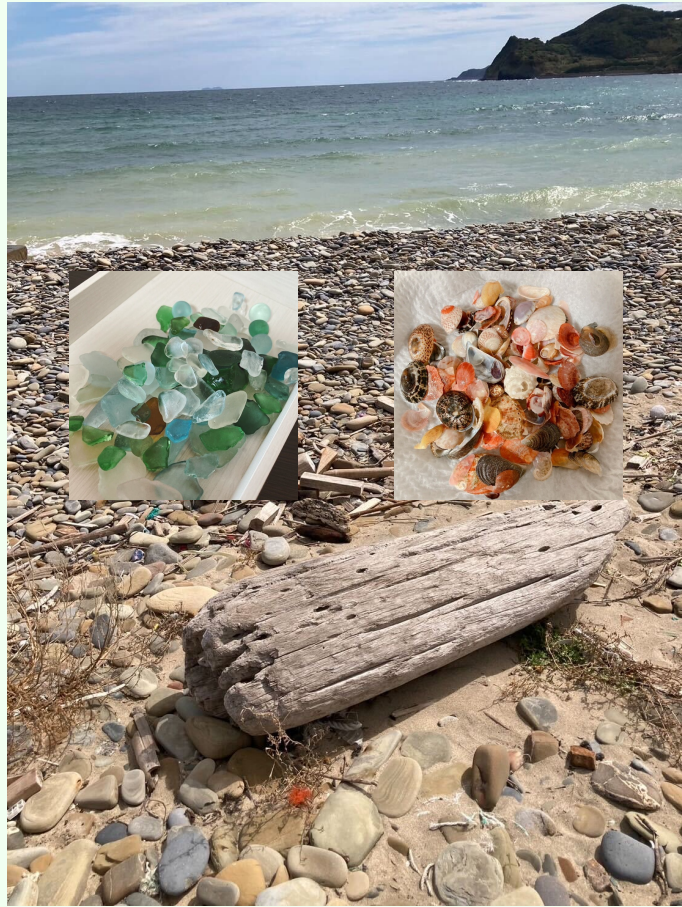
地元有力紙 秋田さきがけ新報 2023年8月6日掲載

地方連携モデル 吉岐



イルカライブ (海、共生について考える)



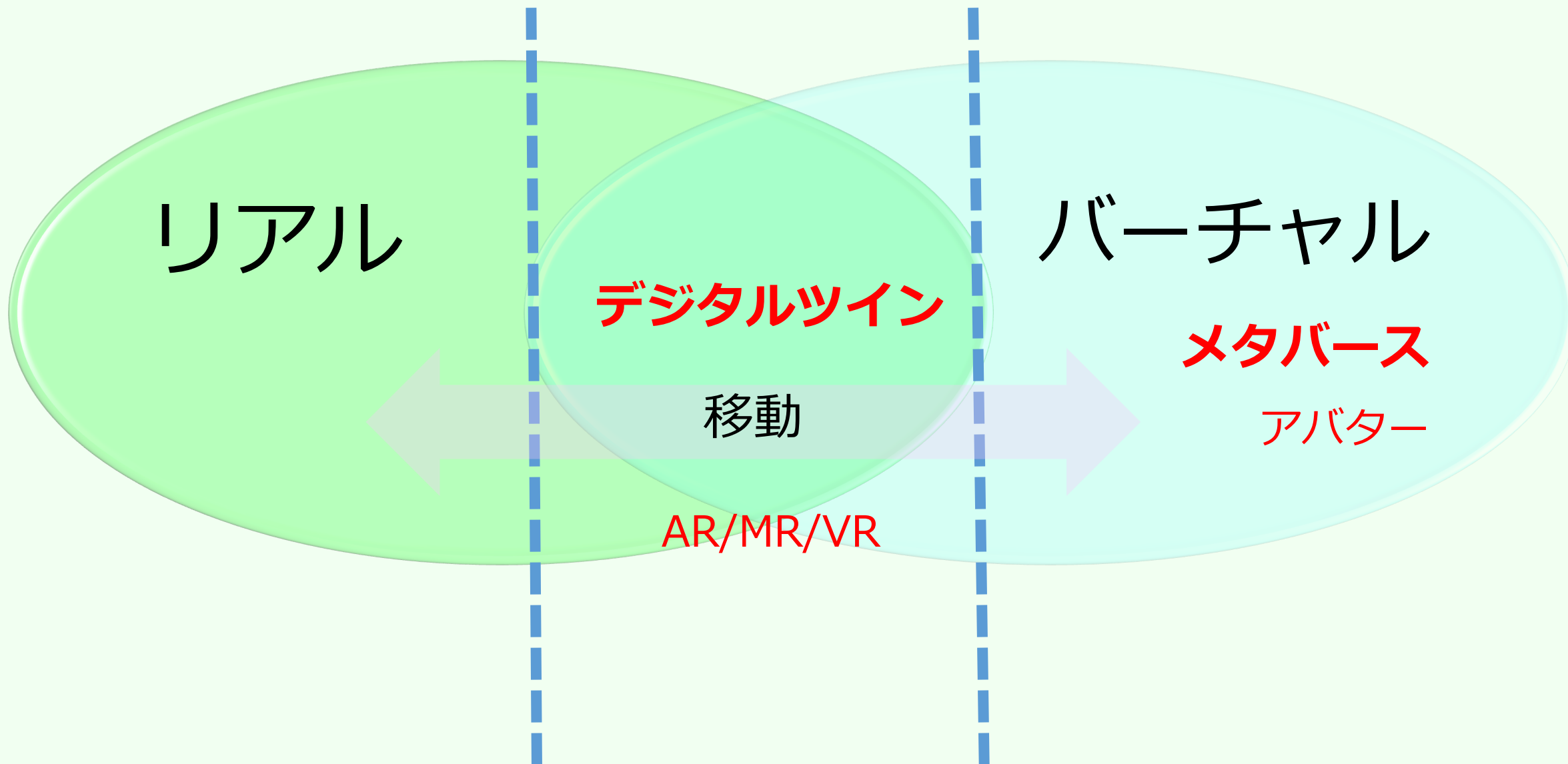


アバターロボットの活用

最新ICT への取り組み

最適なソリューションを活用

リアル・デジタル空間のスムーズな移動



デジタルツイン + アバター

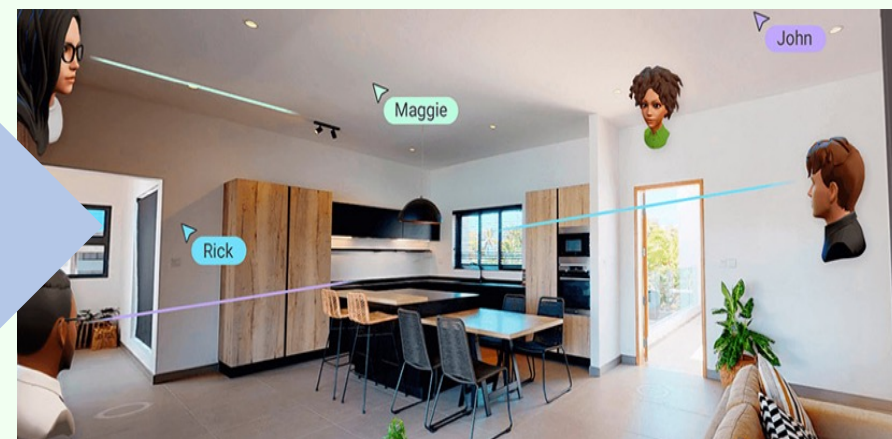
Realtime collaboration inside Digital Twins

SUPERVIZ

特別支援学級



デジタルツイン化



[関連リンク](#)

事例紹介

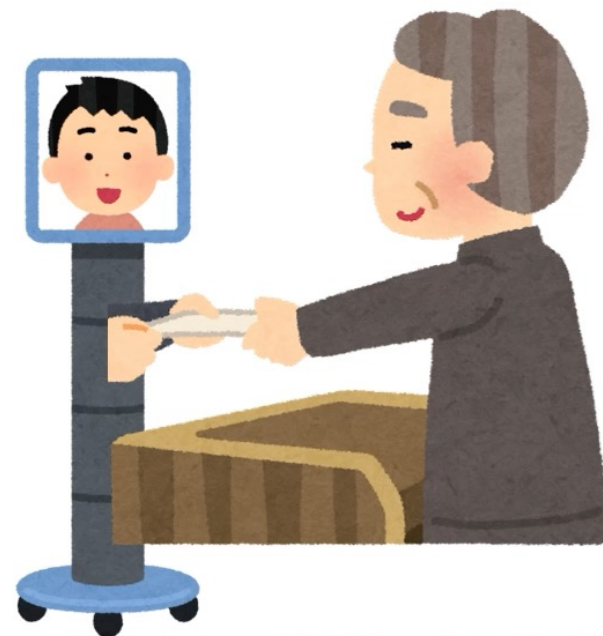


卒業式は100m先

～アバターがつないだ全介助生徒の病室と式会場～



秋田県立
秋田きらり支援学校



校長先生が卒業証書を授与



YouTube

<https://www.youtube.com/youtubejapan>



入院療養しながら教育を受けられる
京都市立桃陽総合支援学校



多摩桜の丘_いさか がロビーに入りました。



J-10
 テーマ名：「僕が見ているもの」
 作者：中2 ゲーマー
Kyou-先生-やま
 学校名：秋田ぎらり支援学校

説明：入院中に、毎日1枚か2枚ずつスケッチブックに描いたものを、大きなキャンパスに集めて作りました。最初は見たものを描いていました。だんだん、想像で描けるようになり、色もカラフルになっていきました。

Northern-Pintail-1...

J-6
 テーマ名：3Dプリンター作品「マイクラフト 橋」
 作者：中2生徒
光陽-中学-サポート
 学校名：秋田ぎらり支援学校

説明：マイクラフトの中心に橋を造り、橋を造ることで立方体や直方体を組み立て、最終的に橋を完成させました。

監教連 光陽一中学-白猫
 みはま-先生-しまだ-丸山
 水戸一教師-校長
 光陽一先生-丸山
 秋田-先生-丸山



目指す世界

病気や障がいなどの外出が困難な子どもの

デジタルで誰一人取り残されない **共生社会** の実現



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

END

